

PEACE GOURD



9条の会・養老
会報、第40号
2023年3月24日
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

海津市のミサイル避難訓練について

海津市議会議員 松岡唯史

去る1月22日に海津市南濃町の境区集会所において、境自治会・境堤西自治会住民を対象とした、国・岐阜県・海津市の共同による弾道ミサイルを想定した住民避難訓練が実施されました。この訓練は、弾道ミサイルが発射された際の避難行動について理解を深めるためのもので、国と自治体との共同による弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施は、県内初とのことです。また、岐阜新聞によると、訓練は北朝鮮のミサイル発射を想定して2017年度に開始。国が参加自治体を公募して全国各地で開いており、海津市での開催は、昨年9月の再開以降、全国で12か所目。市は以前から県との災害図上訓練を計画しており、県が参加を提案したとのことです。

この訓練は境区の防災訓練に合わせて実施し、境区の住民や国と県、市の職員ら約80人が参加。Jアラートの訓練用音声で仮想国からのミサイル発射を伝える情報が流れると、住民たちは頭をカバンなどで隠しながら集会所へ避難。爆風でガラスが割れないように窓の雨戸を閉め、頭を手で押さえて窓から離れた場所でうずくまったとのことです。



海津市広報3月号より

参加した方からは「訓練と分かっているけどアラートが鳴るとドキッとした。家の中で安全な場所を考えておきたい。」と話されたそうです。

たしかに、この間北朝鮮による度重なる弾道ミサイルが発射されており、昨年10月11日にはJアラートも発令されました。しかし、こうした訓練を行うことにより、まるで今すぐにもミサイルが飛来したり、爆風・破片等による被害があるかのような恐怖感を住民に与えてしまいます。今までに弾道ミサイルが岐阜県上空に飛来したことはなく、全国を見ても爆風・破片等による被害は出ていません。

こうした訓練は住民の不安や危機感、対立感情を煽るだけだと私たちは考えます。

◆過日、海津市で行われた「ミサイル避難訓練」について、当世話人会から海津9条の会に原稿を依頼したところ、市会議員の松岡さんより寄稿していただきましたので、掲載させていただきます。◆



♪♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪♪

3.11 東日本大震災追悼集会を開催しました！ 報告：佐竹 哲（世話人）

東日本大震災は今年3月で12年が過ぎました。震災の翌年2012年より毎年、大垣別院で「真宗大谷派・9条の会 大垣」(当方が事務局)、「なくせ原発 大垣駅前行動」、「原発をなくす西濃連絡会」の三団体で「3.11 東日本大震災追悼集会」を共同開催しており、今年もその日を迎えました。30人程の参加者と共に地震が起きた午後2時46分に黙祷、それから参加者全員が一人一回ずつ別院の鐘を撞き、犠牲者への哀悼の意を捧げました。その後、本堂で追悼のお勤めを行い、私と藤僧侶、河村さんにより10分ずつのリレートークをしました。

今年は、仏事としては犠牲者の十三回忌に当たる節目の年でもあります。亡き人が「私たちが無念の思いで死んでいったという事実を忘れないで欲しい。」と生者に語り掛けているのではないかと思います。時の流れは、私たちの記憶を風化させ、痛み、悲しみの心も少しずつ失くしていきます。その延長に経済優先の原発再稼働政策があります。そのような社会の動きは、震災及び福島第一原発事故の犠牲者の願いを踏みにじる行為になるのではないかと思います。来年も震災を忘れないようこの会を継続したいと考えています。



午後2時46分、鐘を撞く参加者たち

「軍拡増税止めよ！！」3.13 増税反対統一行動より

報告：問山尚義（世話人）

去る3月13日、大垣城公園にて増税反対統一行動を実施しました。この“3.13”は毎年確定申告の時期に民商(民主商工会)を中心に開催しています。今年は民商会員をはじめ、関連友好団体の代表も含めて約150名の参加でした。とりわけ今年の集会は「防衛3文書」の閣議決定に続き、未曾有の軍拡予算が組まれようとしている中での開催となりました。

私は開催責任者として次のことを訴えました。
▼民商運動は朝鮮戦争下、戦費調達のための苛烈な徴税に抗う中で生まれたこと ▼軍拡と増税は常に表裏一体、紙の裏表の関係にある事 ▼増税反対の声を上げることは軍拡を止める力になること ▼私たちは微力だが無力ではない。署名の一筆一筆、少しでも声を上げることに意味があると。



当日は寒い日となりましたが、集会の後大垣税務署までデモ行進をして、税務署で署長宛ての要望書を読み上げ、渡し、民商会員はその場で集団申告をしました。例年通り、税務署には民商の集団申告用に特設の窓口を設けていただき、流れ作業のように確定申告を行うことが出来ました。この時ばかりは”数は力”を実感した次第です。



9条の会・養老 2022年度の経過

- 2・21 大垣警察市民監視事件、岐阜地裁1審勝訴 警察の情報提供は違法で罰金、しかし収集は不問に。
- 2・24 ロシアのウクライナ侵攻が始まる プーチン大統領が国連憲章と国際世論を無視して強行
- 2・26 9条の会・養老、設立6周年第7回総会 コロナ対応をしながら22名の参加、カンパ16、100円
記念講演 真宗大谷派住職 大東仁氏 「反戦僧侶 竹中彰元の願い」
- 2月 新型コロナ第6波のピーク
- 3・7 第80回世話人会 総会の反省、会報第34号の発行準備、
- 3・18 会報第34号発行 総会の報告 ロシアのウクライナ侵略 1、
- 5・3 西濃憲法集会2022 松本ヒロ、ソロライブ「こんにちは憲法です」
- 5・20 会報第35号発行 憲法集会の報告 ロシアのウクライナ侵略 2、
- 6・4 ウクライナ人道支援チャリティーコンサート 揖斐川町地域交流センター、養老からも多数参加
- 6・19 憲法カフェin西濃南部、養老町中央公民館 ぎふコラボ友の会、医療生協西濃南部支部一
講師 岐阜大名誉教授 近藤真氏 ー 9条の会・養老、市民の会・海津…の共催
- 7・8 安倍元首相が選挙演説中に撃たれて死亡 犯人は統一教会の被害者、マスコミは安倍氏礼さん
- 7・10 参議院議員選挙投票日 野党共闘が弱まり、改憲派が2/3以上に
- 7・21 会報第36号発行 参議院選挙の結果について
- 8月 新型コロナ第7波のピーク
- 9・25 会報第37号発行 沖縄県知事選の結果、安倍氏国葬と統一教会問題
- 10・21 彰元さんのつどい 真宗大谷派9条の会 上運天有二氏、沖縄本土復帰50年、三線にのせて
- 10・29 9条の会・大垣 18周年総会 田巻紘子弁護士、ジェンダーと憲法
- 11・3 ぎふ平和の集い2022 フォトジャーナリスト安田菜津紀氏、
- 11・25 会報第38号発行 彰元さんのつどい、ぎふ平和のつどい
- 12・3 ぎふコラボ友の会第40回総会 記念講演 笹田参三弁護士
- 12・16 政府が安保関連3文書の改定 専守防衛をやめ敵基地攻撃能力の保有を閣議決定
- 1・28 会報第39号発行 予定どおり年間6回の発行
- 1月 新型コロナ第8波のピーク
- 2・16 第91回世話人会 総会の準備、年間で12回の世話人会
- 4・29 設立7周年第8回総会 予定

町内小倉地内 赤岩神社の桜



◇今後の活動予定と各団体のイベント予定◇

★第2回 憲法カフェ

→別紙チラシあり

日時：3月25日（土）午後1時半～

場所：海津市南濃町 みかげの森しもたどプラザ1F研修室

内容：講演「この日本を戦争できる国にするのか」、講師 中松正人 弁護士

主催：ぎふコラボ友の会、共催：海津市民の会／9条の会・養老

★ 9条の会・養老 第8回総会

→別紙チラシあり

日時：4月29日（土）午後1時半～

場所：町内、広幡公民館1Fホール

内容：上運天 有二 さんの講演と唄

主催：9条の会・養老



編集後記

新聞報道によれば、国民の約4割がコロナの抗体を獲得した模様とのこと、そんな感染収束状況をにらみながら、2月3月の世話人会で、創立7周年第8回の本会の総会を開催することにしました。

今度の総会には上運天有二(かみうんてんゆうじ)氏を招いて、沖縄民謡の演奏と講演をお願いする予定です。この総会を皮切りに、本会の独自企画も少しずつ再開していきたいと思えます。

今回の会報は▼総会に向けての昨年の事業報告 ▼海津市のミサイル避難訓練 ▼3.11追悼集会と3.13重税反対集会の4題となりましたが、史上最悪と言われる新年度予算の衆院通過、韓国大統領の来日がWBCにかすんでしまったことなど、取り上げることはまだまだあるような気がします。

韓国大統領の来日と言えば、言うまでもなく徴用工問題の政府間の調整ですが、元をたどればアメリカが対中国包囲網構築のため、日韓に手を組ませる必要から出た話。当事者(元徴用工の方)を置き去りにしたままの政府間解決では、数年前の「慰安婦合意」と同じ道をたどるのではないかと不安です。

過去の歴史と向き合うことの重要性については最近新聞紙上で、オランダの大学で文化財の原産国への返還運動をしているヨス・ファンビュールデンさん76歳が次のように語っているのが印象的でした。

★「過ちを認めることは道徳的な力の表われです。…隠すことは『弱さ』であり、意味のない重荷を背負ってしまいます。」★

世話人 問山尚義

※去る2月13日ごろ、町内を右翼団体六志館(りくしかん)の街宣車が大音量で街宣するのを聞かれた方もいるのではないかと思います。内容は、町議としてはただ一人当会に参加されている水谷議員を攻撃、議員辞職を求めるものでした。

議員倫理の問題と右翼の政治的主張がかみ合わないチグハグな内容でした。

全国の選挙を巡ってきた南濃町在住の方によれば、右翼の街宣は純粋にビジネスで相場は1日10万円とのこと、誰かがお金で依頼したのでしょう。

最近右翼や統一協会系の団体の活動が活発になってきているようです。軍拡予算、憲法改正の流れと妙に符号すると感ずるのは邪推でしょうか。

問山



町内農免道路を北上する街宣車と後ろをガードする車
※ 会員撮影 ※

連絡先

「9条の会・養老」世話人

090-9183-0444 中野一美 (代表)

090-9894-0444 佐竹 哲

090-2348-0719 問山尚義

090-8733-0090 禿 憲正

fax (問山)

0584-71-8746

E-mail (問山)

toiyama@ninus.ocn.ne.jp